



一福岡市関係局との意見交換会を開催一

令和7年12月23日(火)
北崎校区自治協議会
副会長 板谷 一之

校区の各役員が市の関係部局と意見交換会を行いました。意見交換会の主な内容は下記の通りです。

1. FukuokaWestCoast プロジェクト

福岡市の西部には、美しい海岸線やフオスポット、おしゃれなカフェ等が集まる北崎エリアがあり、市内外から訪れる多くの方が、海辺を楽しみ、癒されている。「FukuokaWestCoast プロジェクト」は、この美しい北崎地区の海辺の魅力をさらに高めていくことで、地域の観光振興・活性化を推進するものである。

2. 各事業の概要について

① 活性化の新たな担い手となる民間施設の立地促進

「市街化調整区域の土地利用規制緩和制度」

・地域産業振興に寄与する施設立地を可能とする制度を平成28年6月より運用している。

「福岡市地域経済循環事業補助金」

・総務省の補助金(ローカル10000プロジェクト)を活用した補助制度を創設。

② 海辺を活かした観光振興

・海辺の観光周遊コースの形式や、交通混雑対策を含む立ち寄りスポットづくりなど、自然環境と調和した持続可能な観光振興に向け、ソフト・ハード面から取り組む。

・フオジェニック(インスタ映え)な海辺で、快適に楽しめる道路整備に取り組む。

③ 海づり公園を活用した活性化

・海づり公園が FukuokaWestCoast の魅力をアピールする立ち寄り拠点となるようリニューアルを実施。

リニューアルの進捗状況

令和7年度	事務所棟設備工事(令和8年3月迄)	令和8年度 以降の予定	料金所棟建築・設備工事
	仮設道路整備工事(令和8年迄の予定)		ロータリー・園路整備工事
	現料金所等の解体工事(令和8年6月迄の予定)		海側通路整備工事

④ イノシシ対策について

・鳥獣害対策は、個体群管理(捕獲)・侵入防止対策(防除)・生息環境管理の三本柱が基本である。

・侵入防止柵の導入支援や地域ぐるみの生息環境管理支援などの取り組みを継続するとともに、令和8年度は新たに集中捕獲や生息調査を実施。

— 令和7年 北崎校区実績 —

(1) 集中捕獲

猟友会及び民間事業者による集中捕獲を実施。

(2) 生息調査

一定間隔でセンサーカメラを設置し、イノシシの撮影頻度や撮影頭数から生息数を推計。

(3) 侵入防止柵導入支援

国の補助金を活用した侵入防止柵設置支援や市独自の設置強化支援を実施。

猟友会の箱わなによる捕獲数			民間事業者のくくりわなによる捕獲数		
全体	箱わな	捕獲数		捕獲期間	捕獲数
	36基	47頭	1	5/22~6/4 (14日間)	14頭
			2	6/26~7/9 (14日間)	9頭
			3	8/28~9/10 (13日間)	20頭
			計	41日間	43頭

*その他自営農家の箱わな10基あり

3. 定住化の促進について

北崎校区の課題である「人口減少・少子高齢化」に対応し、地域コミュニティの維持・活性化を図るため、空き家・空き地を活用した定住化促進に係る地域の主体的な取り組みに対する支援を行う。

・今年度の取り組みとして、北崎への移住ニーズの掘り起こし子育てファミリー層や新規就農者の関心を引くような北崎の紹介動画を作成。「NPO 法人わが家の119番」との連携を行う。

・福岡市空き家活用補助金を広報し、利用者に活用していただく。

以上の通り、行政より説明があり、地域としては各項目や地域特有の関連する事項等について質疑や要望を行って終了しました。なお、今後北崎校区の課題である少子高齢化による人口問題について、行政側の支援を仰ぎながら人口増加に努めていきます。

蒙古山に桜の苗木を植樹

西浦岡町内会
会長 宗輝昭

西浦の北側に蒙古山があります。この山の上には『蒙古山之碑』が昭和初期頃に設置されました。平成17年3月20日の福岡県西方沖地震にて倒壊しましたが、令和4年11月に復興されました。山道や碑の周辺も整備され、綺麗になったことで多くの方が蒙古山に行くようになりました。

令和6年度より北崎を考える会にて各町内から17名、九州沖縄・モンゴル友好協会から10名の方が参加し、山道や周辺の清掃を行うようになりました。令和7年度は参加者や復興に尽力いただいたおはまグループの協力で桜の苗木を碑の周りに植えることができました。数年後には碑の周りに桜の花が見ることができると思います。これからも北崎を考える会を中心に蒙古山之碑を守っていきたく思います。皆さまにも蒙古山之碑を末永く見守っていただきたいです。



西警察署にて北崎地区を代表して講演してきました

北崎未来を創る会
代表 平兮 元祥



北崎駐在所の松本さんより「西警察署には約250名の職員がおりますが、ほとんどが西区外在住で地域のことをよく知りません。ぜひ北崎のことを教えてください」とのご依頼をいただきました。昨年10/31(金)に西警察署内で北崎地区の代表として登壇し、約一時間お話しさせていただきました。私が北崎の歴史を語るようになったきっかけは、高橋石油店の故高橋文二さんが長年語り継いできた貴重なお話を引き継ぎ、10年ほど前から北崎小学校6年生の地域の歴史授業を担当するようになったことです。皆さまご存知の通り、北崎は古く「花鯛郷(はなだいのさと)」と呼ばれた土地で、文字通り「花と鯛」の名産地です。他にも現在大根・スイカをはじめとした農産物の生産が盛んな歴史と自然に恵まれた地区です。また地名の由来は、かつて海賊であった鬼が多く住む崎＝「鬼多崎(きたざき)」が転じて「北崎」になったと言われています。そのほかにも

- ・遣唐使時代を偲ばせる「唐泊」の地名
- ・奈良時代創建の三所神社、小田観音様がある光明寺
- ・元寇の蒙古山に残る蒙古碑

など、貴重な歴史遺産が数多く残っています。こうした歴史とともに、現在の少子高齢化や地域が抱える課題についても率直にお話ししました。

署長さんをはじめ皆さまは「初めて聞くことばかりだった」と大変驚かれ、「北崎のことをもっと知りたくなった」と熱心に耳を傾けてくださいました。松本さんからは「これから意識して巡回します!」と力強いお言葉をいただきました。今回の講演を通して、西警察署の皆さまに北崎への愛着を少しでも持っていただけたなら幸いです。これからも温かく見守っていただけることを心から願っております。





男女共同参画をすすめる会

校区男女共同参画をすすめる会
会長 袈裟丸 悦子

いつも男女共同参画をすすめる会(以下、男女共)の活動にご理解・ご協力・ご参加をありがとうございます。地域の方々のおかげで今年度の活動も無事に終えることができました。一年間の活動の報告をさせていただきます。

R7. 5/ 2：新委員勉強会 — 「クロスロードゲーム」ダイバーシティ編 —

このクロスロードゲームは組織の多様性をどのように理解し活かしていくかについて楽しみながら考える対話型カードゲームです。ゲームは問題に対して「Yes」「No」か自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換を行うことで参加者同士の深い共感と対話を誘発します。他の人の意見を聞き、自分の意見を言うことで多様性、ダイバーシティについて学ぶことができます。

6/3：西都北校区との交流会 (西都北公民館にて)

西都北校区の男女共役員委員さん、衛生部会役員委員さんとお互いの校区の活動について意見交換をしました。他の校区の活動を知ることで自分たちの校区でも取り組める内容やお互いの校区での問題点や改善点などが見えて大変有意義な交流となりました。

9/ 1：西区男女共のバス研修会

「JICA (国際協力機構)」「いのちのたび博物館」へ役員 4 名で参加しました。

9/17：防災講座 — 作ってみよう「マイ・タイムライン」わが家の防災行動計画 —

市民局地域防災課の人見さんに来ていただきました。「マイ・タイムライン」とは自然災害から家族を守るためにどのタイミングでどのような行動をとるべきかをあらかじめ決めておくことです。いざという時に落ち着いて行動することができます。

11/ 3：校区文化祭に参加

前回、男女共の活動についてより広く校区の方々に知って欲しいとの願いで替え歌を作り役員で歌いました。大変評判が良かったと風のうわさを聞き、今回は更にバージョンアップしてステージに立ちました。



校区文化祭

11/21：バスハイク

今回は「キューピー鳥栖工場」「中富記念くすり博物館」でした。キューピー工場では、卵を割る機械に皆さん釘付けになって見えました。キューピーの方からの説明も分かりやすく又ドレッシングの試食やお土産もいただきました。日頃見ること・知ることのできない工夫など大変興味深い経験となりました。くすり博物館では薬の歴史や新薬の開発、クイズなど楽しく学べました。今回参加者が 35 名と、これまでで一番多くの方にご参加いただきました。これからも楽しんでいただける企画を考えていきたいと思います。



バスハイク

R8. 2/ 7：公民館との共催事業『音楽会』

今回はバンド演奏です。毎年楽しみにしていただいている音楽会、ぜひたくさんの方に来ていただけたらと思います。(※R8.1/8 現在)

役員委員のご参加・ご協力で無事に活動ができました。又、ご参加いただいた校区の方へ心よりお礼申し上げます。これからも男女共の活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

— 少子化の中でも、子どもたちの笑顔を守るために —

北崎校区子ども会育成会連合会会長 天野 徳道

北崎校区の皆さまには、日頃より子ども会育成会連合会(以下、子ども育成会)の活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

近年、全国的に少子化が進み、私たちの地域でも子どもの数が年々減少しています。それに伴い行事の参加人数が少なくなったり、役員の担い手が不足したりと、活動の継続に不安を感じる場面も増えてきました。しかし、その一方で、子どもたちが地域の中で育ち、世代を超えて繋がりを感じられる機会は、これまで以上に大切になっていると実感しています。

子ども育成会では、校区の状況を踏まえた新しい形での方法を模索しつつ、季節行事や体験活動、防犯・交通安全の学びなど、子どもたちが「地域に見守られている」と感じられる場づくりを続けていきたいと考えています。人数が少なくなっても、ひとつひとつの活動を丁寧に、そして子どもたちにとって思い出に残るものにしていくことが、私たちの願いです。そのためには、保護者のみならず地域の皆さまのお力添えが欠かせません。子どもたちの成長を地域全体で支えていくために、ぜひ今後ともご助言やご協力をお願いいたします。少子化の時代だからこそ、地域のつながりが子どもたちの未来を明るくしてくれると確信しております。

どうかこれからも、子ども育成会の活動に温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第44回北崎校区文化祭

— 主催 北崎校区自治協議会 北崎公民館 —

作品展覧会：10/28~30 北崎公民館
演芸大会：11 / 3 北崎小学校体育館



福岡マラソン2025

11.9 (日)

